

フィンランドと日本における 地域での高齢者ケアの実践 ～コンパッション都市・コミュニティの形成へ向けて～

2025年

2月21日(金) 18:00-20:00

形式 Zoomウェビナー

定員 100名

参加費 会員3,000円 非会員4,000円

お申し込み 二次元コードからお申し込み下さい。
2025年2月7日(金)締切



コンパッション都市・コミュニティを目指すのは、
「老い」「病」「喪失」などを地域全体で受け止め支え合う社会。
高齢化が進む日本と福祉先進国フィンランド、
それぞれの実践例から、これからの高齢者ケアのあり方を考えます。



竹之内裕文先生

(静岡大学 未来社会デザイン機構・農学部教授)

ご専門は、哲学・倫理学・死生学であり、『コンパッション都市—公衆衛生と終末期ケアの融合』
(アラン・ケレハー著、竹之内裕文・堀田聡子監訳、慶應義塾大学出版会、2022年) 等著書多数。
本セミナーでは、コンパッション都市についての基礎や事例を分かりやすくご講義いただきます。



市橋正子先生

(医療法人思葉会MEIN HAUS 看護小規模多機能型居宅介護所長
緩和ケア特定・認定看護師 在宅ケア特定・認定看護師)

どのように地域住民たちと連携しながら看護を提供しているか、MEIN HAUSの「くらしの保健室」
や駄菓子屋・カフェを活用した地域連携事例などをご紹介いただきます。



小林桃子先生

(フィンランド 南ポフヤンマー福祉区 セントラルホスピタル 看護師)

フィンランドの高齢者ケアの現状を踏まえ、地域社会がどのようにして高齢者やその家族を支援し
ているのか、その現状と課題、看護師の活躍の場について、事例を交えてご紹介いただきます。

お問い合わせ先

一般社団法人日本老年看護学会事務センター

TEL : 03-5206-7431 e-mail : office@rounenkango.com